

Eco-Drive EYES

光がもたらす陰翳の美



シチズン『エコ・ドライブ アイズ』世界限定500個で2月21日発売

シチズン時計(株)は、2010年にバーゼルワールドでコンセプトモデルとして発表した『Eco-Drive EYES(エコ・ドライブ アイズ)』を2月21日からホワイト：250個、ブラック250個の世界限定500個(¥420,000：税込)で発売する。

シチズン時計は、毎年スイスで開催されるバーゼルワールドで「技術と美の融合」というプロダクトポリシーのもと、コンセプトモデルを全世界に向けて発表しており、2009年から2012年まで8モデルを発表し、3モデルを製品化している。

4モデル目となる『エコ・ドライブ アイズ』は、2010年のバーゼルワールドで発表したコンセプトと、製品としての美しさを実現させる為に技術的な取り組みを重ね、更にブラックモデルを追加して、今回の発売に至った。

光で発電するエコ・ドライブに必要なエネルギーとしての「光」と日本ならではの「光」と「影」に対する美意識をデザインとして表現した、光の可視化を目指した腕時計。立体的なインデックスによって文字板上に生まれる陰翳が、日常意識することの無い光の存在を感じさせてくれる。

この世界観を表現する為に、文字板にはどこまでも澄んだ透明感と美しい平滑面を兼ね備えたセラミックス素材を採用し、腕時計としては世界初の立体構造のセラミックス製文字板を実現している。

タイム、ライフ、フューチャーが3つのキーワード

ブランド企画センター長の乾哲弥取締役がプレゼンテーションで説く



同社では、『Eco-Drive EYES(エコ・ドライブ アイズ)』の製品化に関してのプレゼンテーションを昨年の11月27日、東京・表参道のシチズンデザインスタジオで開き、イメージビジュアルをギャラリースタイルで公開した。

同社からは、ブランド企画センター長の乾哲弥取締役が「私達は“ニッポンの時計がおもしろくなる”をスローガンにシチズンブランドの価値を高めていこうと2008年からリアルスケールプロジェクトという活動を始めている。その中でTime(時の解釈)・Light(光の表現)・Future(未来への想像)の3つのキーワードを軸にコンセプトモデルのクリエイションに取組み、この表参道のシチズンデザインスタジオから発信してきた」とエコ・ドライブ アイズ誕生までの経緯を紹介した。

CITIZEN

CITIZEN

強い意志だけが、革新となる。

シチズン アテッサの歴史は、革新の歴史でもある。
エコドライブ、世界多局受信電波時計、フルチタニウムボディ。
先進の技術が可能にしたいくつものイノベーション。
25年の時を越えて、
いままた新たな未来を切り拓いていく。
アテッサ、それは、世界を変えていく時計。



ATTESA
25th Anniversary

エコドライブ電波時計
ダイレクトフライト 一世界26都市の時間を瞬時に表示
AT5040-S7E ¥105,000 (税込)



Eco-Drive

http://citizen.jp



SEIKO

色褪せない
ほうろうダイヤルを採用

セイコーウォッチ(株)は、機械式腕時計ブランド『セイコー プレザージュ』から、セイコーの腕時計100周年を記念し、国産初の腕時計「ローレル」を現代的に解釈し、リデザインしたほうろうダイヤルの限定モデル2機種を1月12日から全国で発売する。価格は84,000円と105,000円で、各モデル限定500本の発売となる。

1913年(大正2年)当時、市場ではまだ懐中時計が主流だった時代に、セイコーは国産初の腕時計「ローレル」を製造、発売した。「常に時代の一步先を行く」精神は100年後の現在にも受け継がれている。2013年、セイコー腕時計の100周年を迎えるにあたり、原点ともいえる「ローレル」の意匠、理念に改めて光を当て、半永久的に色褪せない「ほうろうダイヤル」はそのままだに、当時の精神を現代の技術とデザインで再構築した記念の限定モデル。

半永久的に色褪せないほうろうダイヤルを特徴とするこの「ローレル」は、ほうろう素材により今なお美しい表情を保ち続けている。今回のモデルも半永久的に色褪せない美しさを保つ「ほうろう素材」を採用、独特の艶やかな乳白色を再現した。職人の手によって仕上げられるほうろうダイヤルは、深みのある色合いと独特の艶を持ち、メカニカル(機械式)ウォッチの温もりと絶妙に調和している。ほうろうは、鉄製素材のダイヤルに、不純物の極めて少ない粘土・純水・ガラス等を原料とする釉薬(うわぐすり)を塗布して、高温で焼成したもの。古くから使われていた素材だが、非常に手間がかかり製造が難しいため、一部の特別な商品にのみ使われている。

セイコー腕時計100周年

国産初の腕時計「ローレル」をリデザインした限定モデルを1月12日から発売

機械式時計ブランド『セイコー プレザージュ』

■12時の「赤」に引き継がれる100年前の「粋」(いき)

100年前のデザインを紐解くと、印刷のくっきりとしたコントラストや抑揚のある針の形状など、時刻の読みやすさを考慮した心配りが見て取れる。12時だけを「赤」で印刷した特徴的なデザインは、道具の実用性だけでなく、装飾品として腕時計を楽しむとする100年前の「粋」を汲み取ることが出来る。今も昔も腕時計は道具であり装いを彩る装飾品でもある。アラビア数字に代わり、端正なローマ数字を採用した今回の限定モデルも12時のXIIに「赤の12」を踏襲し、その想いを未来へと引き継いでいる。書体を際立たせるため工数をかけた特殊な印刷技法を採用し、上品な凛々しさを演出している。

■初代「ローレル」をもとに展開する2つの個性

「SARW005」 機械式ならではのパワーリザーブ表示機能を備えた、実用的な多針モデル。6時の位置には、初代「ローレル」の秒針を彷彿とさせるアナログカレンダーを備え、当時の雰囲気を感じ、クラシカルに仕上げたモデル。「SARX011」 当時の技術では実現出来なかった時計・分針・秒針の同軸駆動(中三針)ムーブメントを採用し、ほうろうの艶やかな美しさをストレートに表現したモデル。

両モデルとも飾りを省いたエレガントなケースデザインに、優美な曲線を描く時計と分針を合わせ、時代に左右されない魅力を大切に。裏ぶたは、ダイナミックな回転軸の動きや精緻なつぼみの作動を見て楽しめるソーラーバック仕様となっている。

世界初 ソーラーGPSウォッチ



ASTRON GPS SOLAR

SEIKO

セイコーアストロンSAST003 メーカー希望小売価格 199,500円(税抜き190,000円)

セイコーウォッチ株式会社